

以下、シニアアドバイザーの阿部島啓人氏に、作成いただきました。(写真も阿部島氏の提供)

2025年9月30日(火)に「十勝岳火山群安政火口を水源とするヌッカクシ富良野川砂防現地見学会<温故創新シリーズ>」を開催し、約110名が参加しました。昭和41年開始した砂防事業の砂防計画や酸性水対策や風致景観対策などの課題に対応した工事について理解を深めました。



十勝岳温泉凌雲閣隣の一般駐車場にて  
(標高1,280地点)



説明者の石川勲氏 (株)シン技術コンサル常務取締役  
(公社)砂防学会北海道支部シニアアドバイザー





安政火口を目指して登山道を行く（標高1,410m）



安政火口壁を望む地点にて（標高1,430m地点）





安政火口壁を背景に望む(標高1,430m地点)



凌雲1号砂防堰堤堆砂地より安政火口を望む  
(標高1,290m地点)





道内最標高に築造した凌雲1号砂防堰堤(S46～S49)  
にて(水通し標高1,287.5m)



凌雲1号砂防堰堤堆砂地より安政火口の美しい景観